

令和 2 年 7 月 7 日現在

機関番号：32681

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2015～2019

課題番号：15K04252

研究課題名(和文) 昭和戦前戦中期における日本精神論の興隆と退潮

研究課題名(英文) The rise and decline of Japanese spiritual theory in the Showa period of prewar and wartime

研究代表者

高橋 陽一 (Takahashi, Yoichi)

武蔵野美術大学・造形学部・教授

研究者番号：70299957

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,500,000円

研究成果の概要(和文)：「昭和戦前戦中期における日本精神論の興隆と退潮」と題する本研究は、1930年代の言論界における日本精神論の活性化と文部省思想局・教学局による『日本精神叢書』『教学叢書』などの刊行物を対象として、その学問的背景と言説の分析を行うものである。「日本精神」概念が、教育勅語に根拠を持ち、先行する「国民道徳」概念を継承して、1941年の国民学校令における「皇国ノ道」概念につながる近代教育史の全体像を明らかにした。日本精神は、古典の文献批判や世界的な歴史研究という学問的制約があり、国民統合の概念としての機能に制約があったことを解明した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、1930-40年代の日本精神論の様態と、教育勅語を巡る諸概念の継承関係を明らかにするものであるが、それは今日の伝統文化教育や、近代日本の教育の主導的概念をどう理解するかという現代的・社会的意義を有するものである。本研究の学術的成果として『共通教化と教育勅語』(東京大学出版会2019年)、教養書として『くわすすぎる教育勅語』(太郎次郎社エディタス2019年)、さらに社会的問題提起としての強調として教育史学会編『教育勅語の何が問題か』(岩波ブックレット2017年)、岩波書店編集部『徹底検証教育勅語と日本社会』(岩波書店2017年)が刊行された。

研究成果の概要(英文)：This study, entitled "The rise and decline of Japanese spiritual theory in the Showa period of prewar and wartime", is on the activation of Japanese spiritual theory (Nippon-Seishin-ron) in the 1930s speech field and the "Japanese spiritual series" (Nippon-Seishin-sosho) and "Educational-Academic series" (Kyogaku-sosho) by the Ministry of Education (Monbusho Shiso-kyoku, Kyogaku-kyoku). We will analyze the academic background and discourse of the following publications. The concept of "Japanese spirit" (Nippon-Seishin) is based on the Imperial Manuscript on Education (Kyoiku-Chokugo), inherits the concept of "National morality" (Kokumin-Dotoku), and connected to the concept of "Imperial road" (Kokoku-no-Michi) in the 1941 National School Ordinance (Kokumin-Gakko-Rei). It became clear that the Japanese spirit had academic restrictions such as criticism of classical literature and world history studies, and restrictions on its function as a concept of national integration.

研究分野：教育史学

キーワード：日本精神 皇国ノ道 国民道徳 国民精神 教育勅語 共通教化 日本教育史 海後宗臣

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

本研究の前提は、研究代表者が長期にわたって行ってきた教育勅語にかかわる諸概念の研究、さらに日本諸学振興委員会に関する歴史研究があった。この成果はすでに、駒込武・川村肇・奈須恵子編『戦時下学問の統制と動員 日本諸学振興委員会の研究』(東京大学出版会 2011年)において、研究代表者が教学局刊行書籍の整理などを通して提起していたところであった。こうした蓄積を前提として、教育勅語研究者でもある海後宗臣の動向なども視野に入れて、教育学説史の視点から解明を試みようとしたものである。

### 2. 研究の目的

「昭和戦前戦中期における日本精神論の興隆と退潮」と題する本研究は、1930年代の言論界における日本精神論の活性化と文部省思想局・教学局による『日本精神叢書』『教学叢書』などによる組織化を対象として、その学問的背景と言説の分析を行うものである。さらに日本精神論が、1941年の国民学校令における「皇国ノ道」概念や「大東亜」概念の擡頭により政策的に退潮を迎える過程を分析して、古典の文献批判や世界的な歴史研究という学問的制約をも明らかにする。このことにより、伝統文化教育の理念としての日本精神論が、学問性に規定されることで国民統合の概念としての機能に制約があったことを解明する。

### 3. 研究の方法

本研究の特徴は、従来看過されてきた文部省思想局・教学局の日本精神関係叢書類 166冊を主たる対象として分析を行い、著者や学問領域に焦点を当てて背景となる学説や思想を明らかにすることである。日本精神論が日本の古典や文化事象の学問的研究を裏付けとして必要とするために、文献批判による根拠の疑問や文化事象の世界的起源による独自性の喪失という学問的制約を持たざるを得ないということを広範な学問領域にわたって検証するという手法をとる。また日本精神論から「皇国ノ道」や「大東亜」へと国民統合の概念が移行していく政策的プロセスにも焦点を当て、日本精神論を回避した1941年の国民学校令制定や1944年の日本諸学振興委員会規程改正の背景を明らかにするための、教育政策史および教育学説史の手法も活用していく。

### 4. 研究成果

本研究の成果としては、(1)文部省刊行日本精神関連叢書群の分析、さらには、教育政策及び教育学説における日本精神論の位置の分析をつうじて、基盤的研究をおこなうものであり、この直接の成果としては日本教育史研究の主導者であり、また今日に至るまで教育勅語研究の大家として認識される海後宗臣の学説を明らかにしたことである。(2)さらに日本精神概念の根拠としての教育勅語、とりわけ、先行する国民道徳論や、日本精神論にとってかわる「皇国ノ道」概念などについて近代教育史上の位置づけを明らかにすることである。

#### (1)文献調査による成果

文献調査の成果としては、教育史学会第59回大会においては齊藤利彦(学習院大学)らの呼びかけによるコロキウム「戦時下における教育史学の帰趨 海後宗臣を中心として」において「海後教育史学の再検討と教育類型史観」を口頭発表して戦時下の『現代文明史』の海後宗臣原稿の判定と海後宗臣教育史学の再検討を行った。また日本教育史学会第600回例会で「ワークショップの概念史 海後宗臣の教育学理論と実践を手がかりに」を発表した。前者は『造形と教育』第9号2016年1月、後者は『造形と教育』第10号2017年1月に公表した。

#### (2)教育勅語の概念史の成果

本研究の開始段階には想定してないことであるが、教育勅語に関する社会的関心が高まり、教育史学の成果を公表・公開する必要が生じた。教育史学会公開シンポジウム「教育勅語の何が問題か」2017年6月で講演者の一人となり、その概要に基づいて、教育史学会編『教育勅語の何が問題か』(岩波書店2017年、4名共著)が刊行された。また岩波書店編集部編『徹底検証教育勅語と日本文化』(岩波書店2017年、10名共著)に寄稿した。また学説的整理として、「道徳教育と教育勅語をめぐる教育史研究(課題と展望)」日本教育史研究会『日本教育史研究』第36号2017年8月を発表した。

さらに広く読者に伝えるための「ですます」調の一般書である『くわしすぎる教育勅語』(太郎次郎社エディタス2019年2月)を刊行した。これにより明治期の教育勅語を、本研究課題の「国民道徳」「日本精神」「皇国ノ道」をはじめとする諸概念を含む解釈史を明らかにすることができた。また『くわしすぎる教育勅語』では、逐語的な教育勅語の解釈を示すとともに、戦後に至る通史的な概説を行い、資料や付録などをふくめて本研究成果を広く社会に還元することにつとめた。この『くわしすぎる教育勅語』は一般紙でも取り上げられて、2019年4月6日『朝日新聞』朝刊の本田由紀(東京大学教授)と同年4月14日『読売新聞』朝刊の加藤徹(明治大学教授)、同年12月8日『毎日新聞』朝刊の加藤陽子(東京大学教授)の書評が発表された。

また、教育勅語のもとに各宗教や思想を統合して教化を行う現象を解明して、この成果を科学研究費補助金の刊行助成(学術図書)による高橋陽一『共通教化と教育勅語』(東京大学出版会2019年2月)として公刊した。この『共通教化と教育勅語』では、共通教化の概念のもとに、明

治初年の神仏合同布教から戦時下の日本精神論の没落と皇国ノ道概念の普及までの近代日本の全体を見渡す論考をまとめることができた。本書の書評は、小野雅章（日本大学教授）から日本教育学会『教育学研究』（2020年3月）に、長谷川亮一（東邦大学非常勤講師）から山川出版社『日本歴史』（2020年6月）に、発表された。

教育史学会第63回大会（2019年9月、静岡大学）において、コロキウム「教育勅語を伝える」を小野雅章（日本大学教授）と共同で実施することができた（報告者は、小野雅章、高橋陽一、米田俊彦、樋浦郷子、須田正晴、伊東毅）。この成果は、『造形と教育』第14号（2020年1月）において掲載した。

### (3)研究成果を生かした教科書など

付随する成果としては、研究成果を学生教育や教員研修の教科書作成に反映することに努めた。日本精神論と道德教育研究の成果による教育実践への提起として、高橋陽一・伊東毅編『新しい教育相談論』（武蔵野美術大学出版局 2016年）における多文化共生と宗教教育に関する解説、公益財団法人私立大学通信教育協会編『新しい教育事情』2016年における「特別の教科である道德」の解説を執筆した。また「特別の教科である道德」の理論編として日本精神論や教育勅語問題の成果をもりこんで、高橋陽一・伊東毅の共著『道德科教育講義』（武蔵野美術大学出版局 2017年）を刊行した。さらに教育史通史を含む単著として『新しい教育通義』（武蔵野美術大学出版局 2018年）を刊行した。

なお、本研究成果を生かしつつ、教育勅語の「モノ」としての側面にまで広げた研究を構想し、基盤研究C「教育勅語の本文とモノの系統的研究」（19K02460）が2019年度より開始することができた。

本研究を遂行するために、研究成果を提示して意見を受ける研究会を組織した。ここには、伊東毅（武蔵野美術大学）、駒込武（京都大学）、竹内久顕（東京女子大学）、小幡啓靖（一般社団法人実践倫理宏正会）、小川智瑞恵（立教大学兼任講師）、田中千賀子（武蔵野美術大学非常勤講師）、小澤啓（総合学園ヒューマンアカデミー柏校非常勤講師）、斎藤知明（大正大学講師）らが参加した（2020年のソーシャル・ディスタンスによるネット参加を含む）。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計7件（うち査読付論文 0件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 高橋陽一	4. 巻 36
2. 論文標題 道徳教育と教育勅語をめぐる教育史研究（課題と展望）	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『日本教育史研究』	6. 最初と最後の頁 100-115
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋陽一	4. 巻 10
2. 論文標題 ワークショップの概念史 海後宗臣の教育学理論と実践を手がかり	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 造形と教育	6. 最初と最後の頁 148-163
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋陽一	4. 巻 812
2. 論文標題 小野雅章著『御真影と学校 「奉護」の変容	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本歴史	6. 最初と最後の頁 141-142
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋陽一	4. 巻 9
2. 論文標題 メディアとしての日本教育史 『日本教育史略』から現在まで	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 造形と教育	6. 最初と最後の頁 33-38
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋陽一	4. 巻 9
2. 論文標題 海後教育史学の再検討と教育類型史観 海後宗臣『現代文明史』教育史原稿の分析を中心に	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 造形と教育	6. 最初と最後の頁 39-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小野雅章・高橋陽一	4. 巻 14
2. 論文標題 教育勅語を伝える コロキウムの趣旨と討議の概要	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 造形と教育	6. 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋陽一	4. 巻 14
2. 論文標題 討議とこれからの「伝えること」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 造形と教育	6. 最初と最後の頁 15-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計5件（うち招待講演 2件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 高橋陽一
2. 発表標題 教育勅語の徳目の構造と解釈論
3. 学会等名 教育史学会公開シンポジウム「教育勅語の何が問題か」（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高橋陽一
2. 発表標題 メディアとしての日本教育史 『日本教育史略』から現在まで
3. 学会等名 日本教育史研究会 第23回サマーセミナー（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 高橋陽一
2. 発表標題 海後教育史学の再検討と教育類型史観
3. 学会等名 教育史学会 第59回大会 コロキウム
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 高橋陽一
2. 発表標題 ワークショップの概念史 海後宗臣の教育学理論と実践を手がかりに
3. 学会等名 日本教育史学会 第600回例会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小野雅章・高橋陽一・樋浦郷子・須田正晴・伊東毅
2. 発表標題 コロキウム「教育勅語を伝える」
3. 学会等名 教育史学会 第63回大会 コロキウム
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計11件

1. 著者名 高橋 陽一	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 304
3. 書名 共通教化と教育勸語	

1. 著者名 高橋 陽一	4. 発行年 2019年
2. 出版社 太郎次郎社エディタス	5. 総ページ数 272
3. 書名 くわしすぎる教育勸語	

1. 著者名 高橋 陽一	4. 発行年 2019年
2. 出版社 武蔵野美術大学出版局	5. 総ページ数 240
3. 書名 ファシリテーションの技法	

1. 著者名 高橋 陽一、高橋 陽一、杉山 貴洋、葉山 登、川本 雅子、田中 千賀子、有福 一昭	4. 発行年 2019年
2. 出版社 武蔵野美術大学出版局	5. 総ページ数 256
3. 書名 総合学習とアート	

1. 著者名 高橋 陽一、伊東 毅	4. 発行年 2017年
2. 出版社 武蔵野美術大学出版局	5. 総ページ数 312
3. 書名 道徳科教育講義	

1. 著者名 米田 俊彦、高橋陽一、小股 憲明、樋浦 郷子	4. 発行年 2017年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 71
3. 書名 教育勅語の何が問題か	

1. 著者名 岩波書店編集部、高橋 陽一ほか9名	4. 発行年 2017年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 197
3. 書名 徹底検証教育勅語と日本社会	

1. 著者名 高橋 陽一	4. 発行年 2018年
2. 出版社 武蔵野美術大学出版局	5. 総ページ数 680
3. 書名 新しい教育通義	



1. 著者名 高橋陽一・伊東毅	4. 発行年 2017年
2. 出版社 武蔵野美術大学出版局	5. 総ページ数 312
3. 書名 道徳科教育講義	

1. 著者名 高橋陽一ほか編集委員7名校閲委員16名執筆39名	4. 発行年 2016年
2. 出版社 公益財団法人私立大学通信教育協会	5. 総ページ数 372
3. 書名 新しい教育事情	

1. 著者名 高橋陽一・伊東毅編	4. 発行年 2016年
2. 出版社 武蔵野美術大学出版局	5. 総ページ数 212
3. 書名 新しい教育相談論	

〔産業財産権〕

〔その他〕

公開シンポジウム「教育勅語の何が問題か」の報告資料について <a href="http://kyouikushigakkai.jp/info/2017/0612132411">http://kyouikushigakkai.jp/info/2017/0612132411</a>
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----